

令和 8（2026）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士後期課程

入学試験問題 夏期

看護共通

問題 1 質的研究におけるフォーカスグループインタビューの概要を説明した上で、利点と欠点について、それぞれ述べなさい。

問題 2 質的研究のデータ分析の真実性を保証するための方法について、具体的に記述しなさい。

問題 3 量的研究におけるデータの尺度を 4 つ述べ、それぞれ説明しなさい。

問題 4 人を対象とする研究に関する規制は、指針および法律という形をとっている。ヘルシンキ宣言に則り、これらに共通する要件を 5 つあげなさい。

問題 5 研究における不正行為を 3 つあげ、その説明をしなさい。

令和8年度(2026) 関西医科大学大学院看護学研究科
博士後期課程 入学試験問題 夏期 看護共通
出題の意図および解答例

問題1

【出題の意図】

フォーカスグループインタビューについての知識を問う。

【解答例】

共通した属性を有する対象者グループに対してグループの相互作用やダイナミクスを活用してリッチなデータを得ることができる。利点として、参加者同士の相互作用、質問紙で得ることのできない深い情報が得られる。一度に情報がとれるので低コストである。欠点として議論の偏り、言語化できなかつたり、発言できない人が出てくる。

問題2

【出題の意図】

質的研究の分析方法についての知識を問う。

【解答例】

研究参加者によるメンバーチェック、専門家による検討、分析結果をさかのぼれるように丁寧に記録を残す、トライアングレーションなど。

問題3

【出題の意図】

量的研究におけるデータの考え方の知識を問う。

【解答例】

名義尺度：観察される変数と数値の間に意味を持たせずに対応させる分類。

順序尺度：観察される変数と数値を意味づけをして対応させた分類基準。

間隔尺度：原点と単位が任意に設定されているデータ。

比率尺度：等間隔に加えてゼロを基準とすることができる尺度。

問題4

【出題の意図】

ヘルシンキ宣言に関する知識を問う。

【解答例】

科学的妥当性の確保、被験者の保護、インフォームドコンセントを得ること、個人情報の保護、倫理審査会による研究計画の審査。

問題 5

【出題の意図】

研究における不正行為についての知識を問う。

【解答例】

捏造：存在しないデータや研究成果等を作成し発表すること。

改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果を真正でないものに加工し発表すること。

盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文または用語を当該研究者の了解または適切な表現のないまま流用すること。